

第34期

中間報告書

(第2四半期)

2019.1.1 - 2019.6.30



三井海洋開発株式会社

証券コード 6269

To Our Shareholders

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第34期上半期（2019年1月1日から2019年6月30日まで）の事業の概況等につきご報告申し上げます。

事業の概況について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さが見られるものの、企業収益の伸長により雇用・所得環境も着実に改善するなど緩やかに回復しました。世界経済は、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱を巡る混迷などによる下振れリスクが懸念されているものの、総じて底堅さを持続しました。

原油価格については、景気減速による需要の後退が意識される一方で中東情勢の緊張に伴う供給不安もあり、WTIIは1バレル50米ドル台での推移となりました。エネルギー資源の持続的な供給の観点から、石油会社による深海域を中心とした開発は継続的に行われると考えられ、当社グループの主要事業である浮体式海洋石油・ガス生産設備に関する事業は安定的な成長が見込まれています。

こうした状況のもと、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、大型チャータープロジェクトの新規受注及び既存プロジェクトの仕様変更並びにオペレーションサービス等により、受注高は334,326百万円(前年同期比736.8%増)となりました。売上高はFPSO建造工事の進捗により148,428百万円(前年同期比31.5%増)となりました。利益面では、メキシコ向けFPSOの建造工事について当初の見積もりを上回った費用に対する引当金を計上したことなどにより、営業損失が2,296百万円(前年同期は営業利益10,844百万円)となりました。利息収入や持分法投資利益を含めた経常利益は2,287百万円(前年同期比84.1%減)となりました。これらにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は806百万円(前年同期比92.1%減)となりました。

当第2四半期の配当につきましては、1株当たり22円50銭とさせていただきます。通期では1株当たり45円とさせていただきます。予定です。

通期の見通し

2019年度の連結業績見通しにつきましては、売上高350,000百万円、営業利益8,000百万円、経常利益18,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益12,000百万円を予想しております。なお、これらの業績見通しの前提として、決算時の為替レートは110円/米ドル(2018年度実績は111円2銭/米ドル)を想定しております。

当社グループは、主要事業であるFPSO/FSOの設計・建造から20年にも及ぶ運転・保守サービスの全期間を通じて、当社グループが社会、顧客、パートナー等のステークホルダーに提供する価値(Lifecycle Value)の最大化を図ると同時に、将来に向けた新領域を開発すべく、2018年から2020年を対象年度として以下の戦略を柱とする中期経営計画を推進中です。

【Lifecycle Valueの最大化】

- Asset Integrityの進化：マネジメントシステムの変革や人材開発プログラムの強化による石油・ガス生産サービスの品質向上
- Digitalizationの推進：ビッグデータ解析・人工知能活用による設計・建造・操業・間接機能の高度化

【新領域開発】

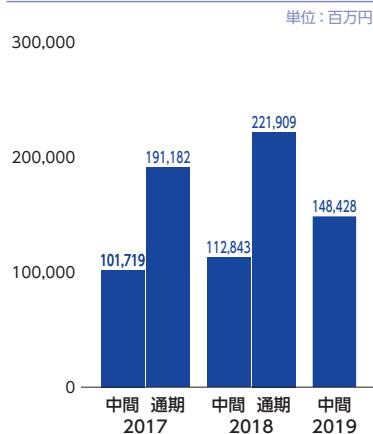
- ガスマーケットへの本格参入：FSRWP®及びFLNGの事業化
- R&D投資の継続：洋上風力発電、海底鉱物資源開発等への継続投資

当社グループは海洋開発業界におけるリーディングカンパニーとして、弛まぬ努力と成長を続けます。今後も皆様の変われぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

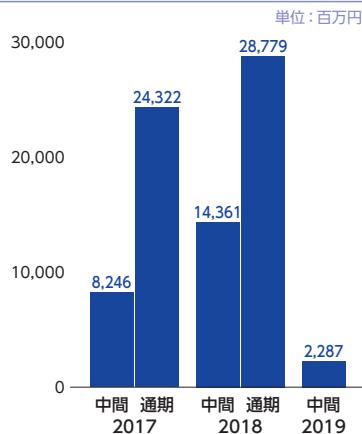
代表取締役社長

香西 勇治

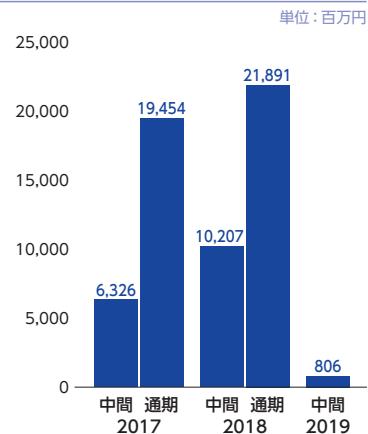
連結売上高



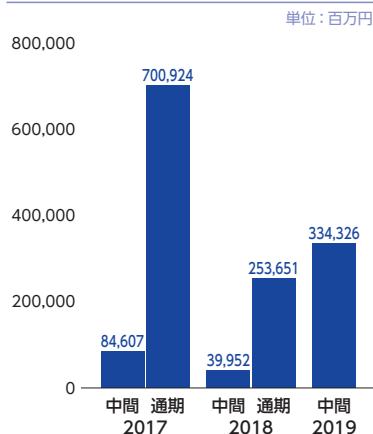
連結経常利益



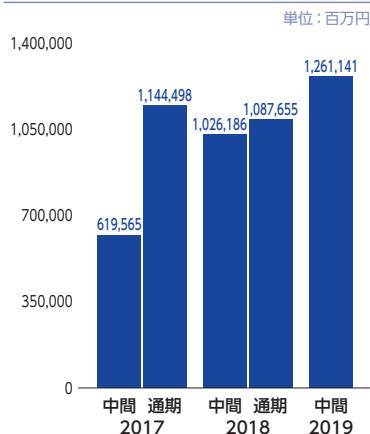
親会社株主に帰属する当期純利益（連結）



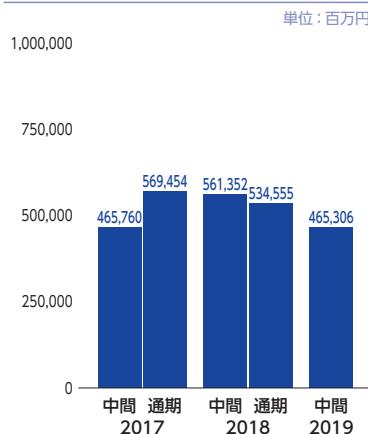
連結受注高



連結受注残高



持分法適用関連会社の「リース、チャーター及びオペレーション」に関する、当社持分相当の受注残高



Financial Statements

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第34期	第33期	科目	第34期	第33期
	第2四半期	2018年12月31日現在		第2四半期	2018年12月31日現在
	2019年6月30日現在	2018年12月31日現在		2019年6月30日現在	2018年12月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	219,931	211,584	流動負債	173,290	144,060
現金及び預金	53,987	51,215	買掛金	116,674	97,680
売掛金	120,327	95,065	1年内返済予定の長期借入金	13,951	6,142
たな卸資産	7,611	5,405	未払費用	15,838	15,507
短期貸付金	23,151	43,021	未払法人税等	6,513	7,219
その他	15,617	17,614	前受金	8,657	9,981
貸倒引当金	△ 764	△ 738	賞与引当金	53	45
固定資産	126,375	131,644	役員賞与引当金	8	19
有形固定資産	5,110	2,543	工事損失引当金	2,528	—
機械装置及び運搬具	6	998	保証工事引当金	5,511	5,937
その他（純額）	5,103	1,545	修繕引当金	—	5
無形固定資産	9,333	9,260	その他の引当金	44	46
のれん	915	1,024	その他	3,507	1,475
その他	8,418	8,235	固定負債	29,111	34,353
投資その他の資産	111,932	119,840	長期借入金	13,671	24,889
投資有価証券	67,032	71,458	退職給付に係る負債	345	347
関係会社長期貸付金	34,712	36,947	その他	15,094	9,117
その他	10,186	11,433	負債合計	202,401	178,414
資産合計	346,307	343,229	(純資産の部)		
			株主資本	152,055	154,446
			資本金	30,122	30,122
			資本剰余金	29,506	30,851
			利益剰余金	92,616	93,571
			自己株式	△ 188	△ 99
			その他の包括利益累計額	△ 12,942	△ 1,781
			繰延ヘッジ損益	△ 13,316	△ 6,864
			為替換算調整勘定	1,104	5,740
			在外子会社退職給付債務等調整額	△ 730	△ 656
			非支配株主持分	4,791	12,148
			純資産合計	143,905	164,814
			負債純資産合計	346,307	343,229

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	第34期	第33期
	第2四半期累計期間 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	第2四半期累計期間 2018年1月1日から 2018年6月30日まで
売上高	148,428	112,843
売上原価	144,465	96,390
売上総利益	3,963	16,453
販売費及び一般管理費	6,259	5,609
営業利益	△ 2,296	10,844
営業外収益	5,707	5,261
受取利息	2,933	2,940
受取配当金	—	2
持分法による投資利益	2,731	1,762
デリバティブ評価益	—	230
その他	42	325
営業外費用	1,123	1,744
支払利息	477	478
為替差損	328	1,197
デリバティブ評価損	122	—
その他	194	69
経常利益	2,287	14,361
特別利益	376	—
関係会社株式売却益	376	—
税金等調整前四半期純利益	2,664	14,361
法人税、住民税及び事業税	1,636	2,664
過年度法人税等	0	3
法人税等調整額	△ 123	977
法人税等合計	1,512	3,644
四半期純利益	1,151	10,716
非支配株主に帰属する 四半期純利益	344	508
親会社株主に帰属する四半期純利益	806	10,207

(注) 2019年12月期の期首から「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を適用しており、第33期の連結貸借対照表については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第34期	第33期
	第2四半期累計期間 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	第2四半期累計期間 2018年1月1日から 2018年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,828	9,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,597	10,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,615	△ 12,742
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,298	△ 1,409
現金及び現金同等物の増減額	2,855	4,904
現金及び現金同等物の期首残高	50,773	28,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,628	33,236



当社が事業化を目指すFSRWP®(浮体式LNG貯蔵再ガス化発電淡水化設備)

*[FSRWP]は、三井海洋開発株式会社(MODEC, Inc.)の登録商標です。

会社概要

2019年6月30日現在

会社名	三井海洋開発株式会社 (英文名 MODEC, INC.)	従業員数	単体 (臨時従業員を含む) : 175名 連結 (臨時従業員を含む) : 4,632名
設立	1987年(昭和62年)6月1日	事業内容	浮体式海洋石油・ガス生産設備 (FPSO、FSO及びTLP) の設計・建造・据付、販売、リース及びオペレーションサービス
資本金	301億2,249万円		FPSO - Floating Production, Storage and Offloading system (浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)
本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目3番10号 日本橋丸善東急ビル TEL : 03-5290-1200 (代表) FAX : 03-5290-1505 https://www.modec.com/jp/		FSO - Floating Storage and Offloading system (浮体式海洋石油・ガス貯蔵積出設備) TLP - Tension Leg Platform (緊張係留式プラットフォーム)

役員

2019年6月30日現在

取締役

宮崎 俊郎	取締役会長
香西 勇治	代表取締役社長
金森 健	取締役
澤田 実	取締役
松村 竹実	取締役
中井 一雅	社外取締役
名取 勝也	社外取締役
相京 重信	社外取締役
菅野 寛	社外取締役
野田 弘子	社外取締役
白石 和子	社外取締役

監査役

相京 勝則	常勤監査役
世戸 健司	社外監査役
加藤 順弘	社外監査役
井上 和美	社外監査役

執行役員

宮崎 俊郎*	会長執行役員
香西 勇治*	社長執行役員
金森 健*	副社長執行役員
西野 孝	常務執行役員
Ricky Alan Hall	常務執行役員
Sateesh Dev	常務執行役員
村上 雄二	常務執行役員
坪川 毅彦	常務執行役員
高野 育浩	常務執行役員
羽部 正樹	常務執行役員
澤田 実*	常務執行役員
今泉 勝行	執行役員
Tony Quinn	執行役員
八亀 博	執行役員

*印の執行役員は取締役を兼務しています。

株式の情報

2019年6月30日現在

発行可能株式総数	102,868,000株
発行済株式総数	56,408,000株
株主数	7,198名

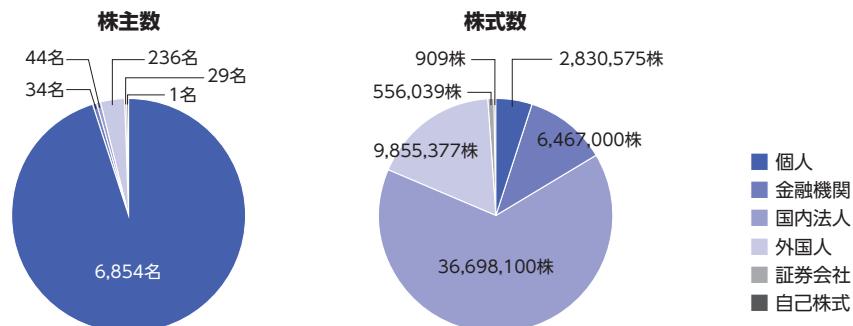
大株主

2019年6月30日現在

氏名または名称	所有株式数(株)	株式数比率(%)
株式会社三井E&Sホールディングス	28,261,000	50.10
三井物産株式会社	8,387,300	14.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,139,600	3.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,475,000	2.61
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	1,089,203	1.93
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	607,320	1.07
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505103	476,356	0.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	411,800	0.73
クリアストリーム バンキング エス エー	410,900	0.72
エバーグリーン	386,700	0.68

株主構成

2019年6月30日現在



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催
期末配当基準日	毎年12月31日
中間配当基準日 (中間配当を実施する場合)	毎年6月30日
公告方法	電子公告 (https://www.modec.com/jp/ir/index.html) 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(お問い合わせ先) 郵便物郵送先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター) TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル)
(インターネット) ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

三井海洋開発株式会社

〒103-0027
東京都中央区日本橋二丁目3番10号
日本橋丸善東急ビル
TEL: 03-5290-1200 (代表)
FAX: 03-5290-1505
<https://www.modec.com/jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。